

(様式4)

都道府県名	山口県	番号	35
ふりがな 学校名	はぎしりつこしがはましようがっこう 萩市立越ヶ浜小学校		

## 1. 研究の概要

研究主題解明に向けての、国語力を高める授業モデル（過程及び活動構成・評価規準の具体・支援と評価の明確化）をつくる。また、国語力のベースとなる語彙力・文法力・文字力・発語力育成に向けてのスキルタイムの開発を行う。そして、他の教育活動への波及として、音・音集会を開発する。

## 2. 成果

- (1) 国語科の授業実践においては、子ども一人ひとりが、自分の学びの目的をしっかりともち、思考・表現する中で、自分らしさを言葉で思い切り表出しながら、新たな国語力を着実に高めていく姿が随所に見受けられた。特に、自己評価活動での振り返りの場では、学びの楽しさを実感する、向上的・成長的変容の様子を多く捉えることができた。そして、その楽しさが、他の教育活動へも波及してきており、表現活動が着実に活性化してきているといえる。
- (2) PISA型読解力で重視される論理的思考力の育成についても、その育成の場を積極的に国語科授業に取り入れることで、表現内容と表現形式の両面から、その結びつきや関連を思考し、確かな論理を構築する力が子ども一人ひとりに少しずつではあるが身につけてきているように思える。
- (3) 保護者からの授業評価においても、児童が熱心に生き生きと学習に集中しているとして、多くの「よい」評価を得た。また、「学習発表会」や「音・音集会」等での各学年の発表には、多くの保護者から称賛の声を得た。

## 3. 成果についての検証

一つ目は指導実践への取組が全教職員における共通理解の下に行われたことである。授業モデルや指導案形式、スキルタイムの内容やその位置づけなど、全教職員で思いや考えを出し合い、越ヶ浜の児童の育成を願い、協同実践されたことである。

二つ目は、地域及び家庭、保護者の協力である。3学期には地域で一体となって国語力を高めるパンフレット作成に取り組むなど、多くの支援をいただいたことである。

## 4. 課題とその改善

### (1) 他の教育活動への波及

今後の大きな課題は、国語力の他の教育活動への波及である。特に、総合的な学習の時間や特別活動において、国語力の発揮・定着状況を見取り、育む研究実践に取り組んでいきたいと考える。また、1、2年次に作成した国語力向上授業モデルをもとに、他の教育活動で授業実践を試みながら、そのモデルの検証を行っていきたい。

(2) 国語力向上スキルタイムの深化

スキルタイムで育んだ力が、日々の国語科授業や他の教育活動に生き、また、日々の国語科授業で育んだ力がスキルタイムに生きるといった、双方の教育活動の関連をさらに強く求めて、真に子ども一人ひとりに国語力が身に付く方途を研究していきたいと考える。

(3) 年間を見通した国語力向上への取組

国語力向上を軸に、国語科授業やスキルタイムも含めた他の教育活動を年間を通して、いかに、子ども主体に意図的・計画的に整備していけばよいかを構想したい。